

(別添)

News Release

2019年 12月 19日
NITE (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
北陸支所

点検しましょう。ほこりを払ってキレイに年越し ～5年で191件、配線器具の火災事故～

1. 事故の発生状況

2014年度から2018年度までの5年間にNITEに通知された製品事故情報^{※1}のうち、北陸3県（富山県、石川県及び福井県）で配線器具による製品事故が17件^{※2}ありました。

(1) 県別の年度別事故発生件数（表1）

表1 配線器具による製品事故の県別の年度別事故発生件数（2014～2018年度）

発生年度		富山県	石川県	福井県	合計
2014年度		1	1	0	2
2015年度		2	1	2	5
2016年度		1	2	0	3
2017年度		1	0	1	2
2018年度		2	2	1	5
合 計	事故件数	7	6	4	17
	火災件数	[3]	[4]	[4]	[11]

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2:重複、対象外情報を除いた事故発生件数

(2) 県別の被害状況別事故発生件数（表2）

表2 配線器具による製品事故の県別の被害状況別事故発生件数（2014～2018年度）^{※3}

被害状況		富山県	石川県	福井県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0
	重傷	0	0	0	0
	軽傷	0	0	0	0
物的被害	拡大被害	7	5	3	15
	製品破損	0	1	1	2
被害なし		0	0	0	0
合 計		7	6	4	17

※3: 表2において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 配線器具の主な重大製品事故事例

(1) 延長コードのコネクタボディのトラッキング現象により火災が発生した事故

・2016年1月（福井県、男性、40歳代、製品破損）

【事故の内容】

延長コードのコードコネクタボディが焼損した。

【事故の原因】

湿気が高く、ほこりが多い環境下で使用していたことから、延長コードの刃受け金具間に異物が付着して絶縁性が低下し、トラッキング現象が生じて焼損したものと推定される。

(2) 延長コードに接続可能な最大電力を超える電気製品をつないで使用したため火災が発生した事故

・2016年6月（石川県、年齢性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

店舗で延長コードを使用していたところ、延長コード及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

延長コードに接続可能な最大電力（1500W）を超えて多数の電気製品を接続（最大約2325W）し、使用していたため、過電流により刃受金具が異常発熱して出火したものと推定される。なお、本体表示には「1500Wまで使用可能」の旨、記載されていた。

(3) 延長コードのコネクタボディに水がかかってトラッキング現象が生じ発煙焼損した事故

・2017年10月（富山県、年齢性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

延長コードのコードコネクタボディ付近から発煙し、接続していた延長コードのプラグが焦げた。

【事故の原因】

延長コードを水槽の近くで使用したため、水槽の水が掛かってコードコネクタボディ内部でトラッキング現象が生じ、発煙・焼損したものと推定される。なお、取扱説明書には、「水の掛かる所では使用しない。感電、火災の原因となる。」旨、記載されていた。

3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITEのロゴ」としてください。

（本件に関する問い合わせ先）

〒920-0024 石川県金沢市西念3-4-1

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所 技術課

担当者 樋口、矢代

電話：076-231-0435